

## 「放談会：触媒研究の最前線と未来」

- 趣旨** 本ワークショップでは、触媒表面分野で活躍する新進気鋭の若手研究者に、触媒の合成と計測の最前線を紹介していただき、10年20年後に何を指すべきかについて熱く語って頂きます。幅広い分野の方に参加して頂き、新しい潮流の芽を生み出す契機となることを期待しています。
- 主催** 触媒学会界面分子変換研究会・日本表面科学会触媒表面科学研究部会
- 協賛** 分子科学会, ナノ学会
- 日程** 2017年3月3日(金)
- 場所** 東京大学 理学部化学科本館4階講義室  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_06\\_07\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_07_j.html)
- 参加費** 一般(触媒学会・表面科学会会員 ¥2,000、協賛学会会員 ¥3,000、その他 ¥4,000)  
 学生 無料
- 申込方法** 下記のサイトからお申込みください。  
<https://ws.formzu.net/fgen/S13788011/>  
 申込を受け付けた方には確認メールをお送りいたします。メールに記載の銀行口座に、2月20日(月)までに振込みをお願いいたします。領収書は当日会場にてお渡し致します。討議中心のワークショップのため講演資料集は用意致しません。
- 申込締切** 2月13日(月)(申し込みが50名に達した時点で締切とさせていただきます)
- 連絡先** 触媒学会「界面分子変換の機構と制御研究会」世話人代表  
 東京大学理学系研究科 佃 達哉  
 email: tsukuda@chem.s.u-tokyo.ac.jp  
 表面科学会触媒表面科学研究部会部会長  
 福岡大学工学部化学システム工学科 久保田純  
 email: jkubota@fukuoka-u.ac.jp

12:00-13:00	受付	
13:00-13:05	趣旨説明	佃 達哉 (東京大)
触媒の合成・解明・予測 (DL: 佃)		
13:05-13:30	高活性金属ナノ触媒が切り拓く革新的ものづくり	満留敬人 (大阪大)
13:30-13:55	第一原理計算を基盤とした酸化物触媒の活性メカニズム解析	笠松秀輔 (東京大)
13:55-14:20	低仕事関数材料による金属触媒の活性化	北野政明 (東工大)
14:20-14:50	全体質疑+休憩	
触媒の観測 (DL: 久保田)		
14:50-15:15	実触媒とモデル触媒で明らかとなる活性点・メカニズム・キネティクスそしてダイナミクス	近藤剛弘 (筑波大)
15:15-15:40	X線および電子をプローブとした固液界面その場測定ー現状と課題	増田卓也 (物材機構)
15:40-16:25	基調講演「オペランド観測と触媒開発ー見ると造るが1つになる時代へー」	近藤 寛 (慶応大)
16:25-16:45	全体質疑	
16:45-16:50	まとめ	久保田純 (福岡大)